

中部ESD拠点運営委員会（第3）議事メモ

日 時 平成20年3月27日（木）18時30分～20時45分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（810号室）

出席者 竹内委員長、寺井、天野、長谷川、高山の各委員

事務局 古澤、永田

議 事

1. 運営委員会の運営方法について

委員長から、運営委員会の運営方法について提案があり、事務局から、配付資料の中部ESD運営委員会の運営に関する申合せ（案）について説明があり、審議の結果、「中部ESD拠点運営委員会規程第10条の規定に基づき、中部ESD拠点運営委員会は、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。」に修正のうえ、本日付けでこれを決定した。

なお、市民推進会議からの運営委員会への出席の申し出については、決定した「中部ESD拠点運営委員会の運営に関する申合せ」に基づき、これを了承した。

2. 国連大学への提出書類について

委員長から、国連大学への提出書類について検討願いたい旨の発言があり、事務局から、配付資料に基づき、①年次報告、②ニュースレターのためのニュース、報告、③セルフエバリュエーション（自己評価）、④ファクト・シート（RCE Chubu の紹介）の各事項について説明があり、以下のように措置することとした。

- ① 千頭副委員長に作成方を依頼することとした。
- ② 共同代表名を明記することで、文科省の方の名は削除することとした。
- ③ 事務局で項目を書き出して国連大学に初稿を提出することとした。
- ④ 既に準備委員会で作成されたものに事務局で追記し、各委員にメールで確認を願うこととした。

3. RCE世界大会への参加について

委員長から、RCE世界大会（スペイン・バルセロナ）への参加者（2名枠）について検討願いたい旨の発言があり、意見交換の結果、千頭副委員長のご都合を伺った後、羽後准教授（中部大学）、古澤事務局員に参加願うこととした。

なお、飯吉拠点代表、竹内委員長については、別途経費により参加することとする。

4. 後援名義使用及び共催の手続きについて

委員長から、後援名義使用及び共催の手続きについて提案があり、事務局から、配付資料の中部ESD協議会の後援名義使用等に関する要綱（案）（平成20年3月1日、中部ESD運営委員会決定）について逐条説明の後、審議の結果、これを決定した。

なお、企業に対する取扱いについては、協議会参加のあり方との整合を諮ることとする。

5. 活動認定及び褒章について

委員長から、活動認定及び褒章について検討願いたい旨の発言があり、意見交換の結果、中部E S D拠点の顕彰制度を確立していくこととした。

関連して、長谷川委員から、“中部R C Eぎふランチ”構想計画状況について報告があり、中部E S D拠点協議会との今後の調整の必要性を議論した。また、高山委員から、三重県における顕彰制度に基づく表彰状況について開陳があった。

6. ホームページ及びメルマガについて

天野委員から、中部E S D拠点ホームページの立ち上げに係る準備状況とメルマガに係る検討状況について報告があり、3月31日（月）に打合せ会をもつこととしている旨の説明の後、岐阜大学、三重大学、E P O中部からも本会に加わっていただきたいとの要請があった。

7. 「活動方針」の展開、運営方法について

高山委員から、申請書類、今後の活動について（「中部E S D拠点協議会総会」（2008年1月14日））を基に、常に本会で議論していくべきとの発言があり、次回以降具体的な事項を取り上げ議論していくこととした。

関連して、高山委員から、配付資料に基づき、COP10の状況について説明があり、意見交換の結果、中部E S D拠点として、COP10に対してどのような形で活動をすべきかについても議論を深めていくこととした。次回委員会において高山委員よりCOP10に関して、寺井委員より伊勢・三河湾流域に関して、それぞれレクチャーをしていただく予定とした。

8. その他

1) 中部E S D拠点協議会への参加について

事務局から、岐阜県、国際グリーンシチズンなど3団体から参加申請があり、岐阜県についてはこれを承認し、その他については、メール審議とすることとした。

2) 研究開発プログラム「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会の実現」について

委員長から、配付資料の研究開発プログラム「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会の実現」について説明があり、4大学が連携してこれに応募する方向で考えたいので、公募案内があった際は協力願いたいとの要請があった。

3) 中部E S D拠点事業単位について

事務局から、中部E S D拠点事業単位について発言があり、年度（4月～3月）を事業単位とすることとした。

以 上